

3

次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

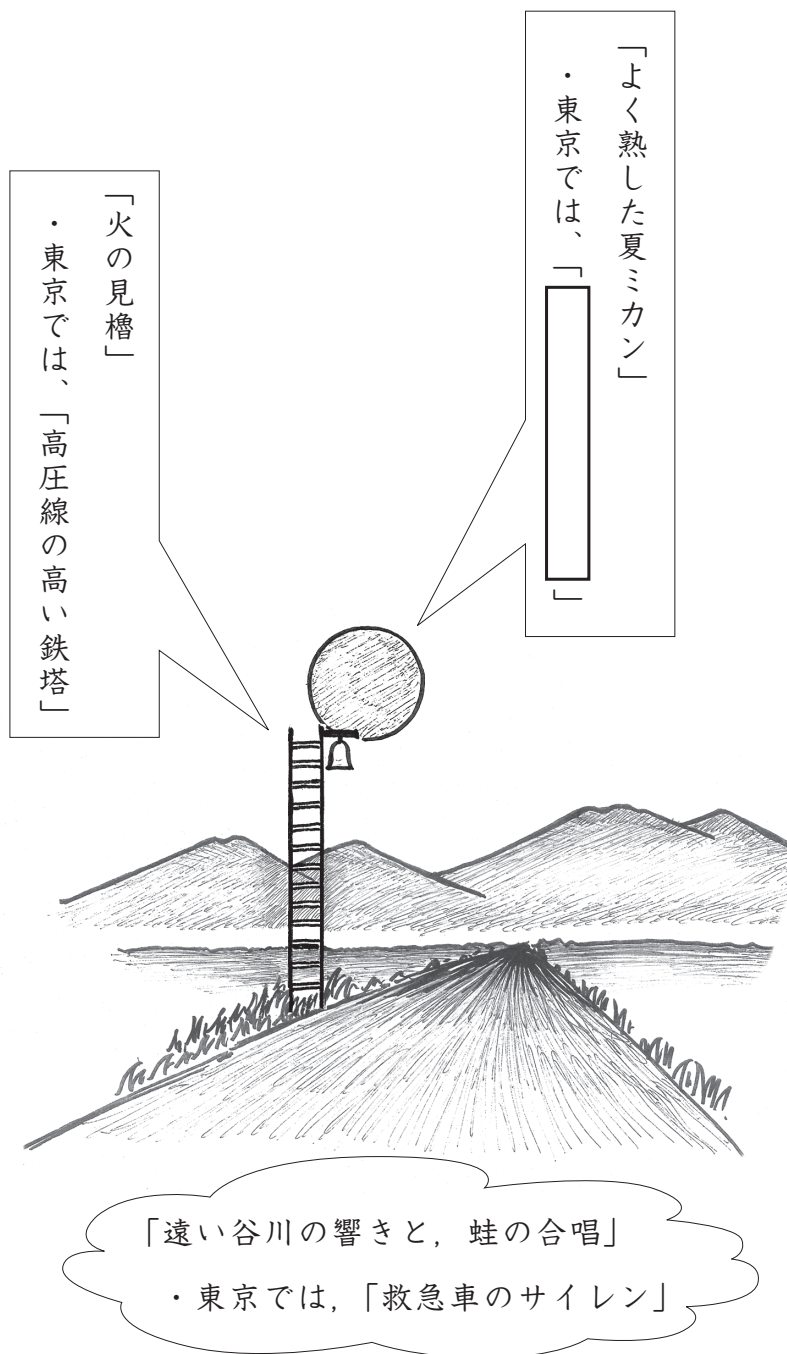
(三浦哲郎『ユタとふしぎな仲間たち』による。)

(三浦哲郎『ユタとふしぎな仲間たち』による。)

(注1) 火の見櫓＝火事の見張りをするために高く設けたやぐら。

(注2) 半鐘＝釣り鐘の小さいもの。火の見櫓に取り付けて、火災を知らせるためなどに使われる。

一 次は、「ぼく」が見ている情景を、東京の情景と対応させて整理したものです。  
□ に当てはまる言葉を本文中から探し、抜き出してください。



二 — 線部「この村の月は、まるでよく熟した夏ミカンだ」に使われている表現の技法を何と言いますか。三字以内で書きなさい  
(漢字、ひらがなのどちらでもよい)。